

市民公益活動支援センターを考える会 第9回 議事録概要版

日時：9月28日（水） 13:00～16:30

場所：柏市役所102会議室（市役所第1庁舎（旧庁舎）1階）

記録：松浦光恵

参加者：塚越忠夫・四元恒慈・山岡平三・中村典道・吉村友佑・高橋昌代・吉田孝子・松田月子・諏訪部正敏・藤田哲也・岡田哲郎・小島琢夫・増田泰子・保田行弘・鬼澤徹雄・後藤能成

・・・合計16名他、事務局5名

欠席：岡田幸男・大島安輝子・高田昭治・土谷和光

次第：1. 提言書骨子案について

これまでの議論のおさらい

2. これまでの議論についてアドバイス

粉川一郎さん（特活）コミュニティ・シンクタンク評価みえノ
武蔵大学社会学部メディア社会学科専任講師

休憩

3. 評価方法について

粉川一郎さん

4. 事務連絡

2. これまでの議論についてアドバイス

粉川一郎さんをアドバイザーとしてお招きし、「これまでの議論の確認」と「議論が不十分な点」について以下のようにアドバイスしていただいた。

【情報：掲示板】

- ・アナログの掲示板は実は大事！
- ・駅前や大型店舗の中など、人のいるところにもっとお金をかけて設置すべき。

【相談】

- ・設立相談は大事！行政だけにまかせては本来いけない。
- ・ワンストップサービスは大事

【交流】

- ・テーブルを置けば、交流が始まるわけではない。「しかけ」が大事！

【ネットワーキング】

- ・クリッピングサービスで、情報に価値をつける
- ・AさんがBさんと「つながりたいな」という意欲をかきたてる情報をつくる。

【場所】

- ・掲示板、ポスターを貼っていくと、150㎡は意外にすぐ埋まってしまう。
- ・もともと賑やかなところにもっていくほうが賢明。
- ・複合的な機能をあわせるということもアリ（学生の勉強スペース・子育てスペース）

【運営形態】

- ・「言いつ放し」にしないことは大事
- ・運営協議会に、あまり責任や負担を負わせると破綻しかねない。

3. 評価方法について

粉川さんのアドバイスを参考としながら、評価に関する「何のための評価か」「方法」「評価者」「何を評価するのか」といった4点について検討を行った。

<何のための評価か>

- ・説明責任
- ・改善

<方法>

<評価者の具体例>

| | | |
|------|------------|------------------|
| 外部評価 | 第三者評価…………… | 大学の先生など |
| | 支援者評価…………… | 行政など |
| | 受益者評価…………… | 利用者 |
| 内部評価 | 自己評価…………… | 運営協議会、委託先 NPO など |

<何を評価する>

- ・事業（機能）ごとの評価
- ・センター全体の評価
- ・行政としての費用対効果

以上のような議論から、結論として以下のような評価方法をとってはどうかという議論となった。

- (1) 4つの評価内容のうち、出来るところから実施する
- (2) 内容は大別して、事業内容について、運営方法について、行政としての費用対効果についての3つを目安に考える。
- (3) 誰が評価するのかについては、評価の仕方決定する。

3. 今回のまとめと次回について

今回の会議では、アドバイザーとして粉川一郎さんをお招きし、「これまでの議論の確認」と「議論の不十分な点」についてお話を頂いた。また、「評価方法」について、粉川さんのアドバイスをもとに検討を行った。

次回は、提言書の骨子案を作成するにあたって、まだ議論が十分にされていない、以下の4項目について議論を行うこととする。

- 運営方法について 「運営協議会の関わり方」
- 場所について
- 社会福祉協議会ボランティアセンターとの役割分担の確認
- 評価について